

# うるかむ

WELCOME YAMAGATA! COMMUNICATION FREE PAPER.



## 山形に避難されている方へ伝えたいメッセージ

### CONTENTS

- 一面/「安波祭」写真展/山形市野草園
- From山形 ちえっと寄れ茶〜
- ココロとカラダとお金のメイクバランス
- みんなの声/しあわせココロのつくりかた(128)
- 英字新聞でエコバッグ作り/ITお助けコラム
- おすすめ情報
- 旬なお野菜&くだもの通信
- 斎藤茂吉記念館 ●編集部より

## 第156号

つながろう! ささえあおう!  
復興支援プロジェクトやまがた

TEL 023-674-7311  
E-mail kizuna@yamagata1.jp  
発行数: 2100部

Fromやまがた

## 「安波祭」写真展



3月18日〜5月中旬までの期間、山形市にある吉田カメラ二口橋新本店にて、「安波祭」写真展が開催され、2階ギャラリーにおいて、アマチュアカメラマン渡辺和哉さんが撮影した写真が数十点展示されました。

安波祭は豊漁と海上の安全を祈る、浪江町請戸地区の祭りです。約300年の歴史があり、すもともとは旧暦の1月24日に行われていました。近年は2月の第3日曜日に行われるようになりました。

祭りの当日は神社から金銀の御幣をを持った奉賀の行列と神輿が集落を練り歩き、花笠を被った子どもが踊り子が家々を回り歩き、お囃子に合わせ田植え踊りを披露。また、一方で樽神輿を担いだ若者が冬の冷たい海に入り大あばれした後、浜辺に上がり、海水を汲み上げ、そのにごり具合



で豊漁と豊作を占うといわれています。

震災後、安波祭は県内の仮設住宅で行われ、2018年からは地元で祭りを再開。その後、昨年までの2年間はコロナ禍の影響で神事のみが執り行われてきましたが、

セージで「震災による町民の避難など、辛い時期を乗り越えてきたが、安波祭は途切れることなく、毎年行っている。撮り貯めたものを毎年展示しているので、皆様にご覧頂き、少しでも何かを感じ取って頂けたらうれしい」と綴っていました。



今年祭りが復活し、田植踊りと神楽が披露されました。

渡辺さんは、2011年2月に初めて安波祭を撮影し、翌月に東日本大震災が起きました。当時撮影した写真は貴重なものとなり、その後、仮設住宅に避難している浪江町の方に写真を届け、写真の中の自宅を見つけて懐かしいと大変感謝されたそうです。

渡辺さんはメツ

Fromやまがた

## 山形市野草園

4月1日(土)に今年も山形市野草園が開園しました。26ヘクタールという壮大な広さの中に、約1200種の植物が自生しています。そして自然学習センターをはじめ、自然観察路や散策路、ハーブ園や野草コーナーがあり、自然学習の場として広く活用されています。

5月末頃には、クリンソウやサクラソウ、東北にも数か所で見られないというヒメサユリなどが見頃を迎えるという事です。6月にはテラリウムやホテル観察会などが予定されており、秋まで多くのイベントも企画されています。大自然を満喫し是非お出かけしてはいかがでしょうか。



**開園時間**  
4月〜5月/9:00〜16:30(入園は16:00まで)  
6月〜8月/9:00〜18:00(入園は17:00まで)  
9月〜11月/9:00〜16:30(入園は16:00まで)

**休園日**  
毎週月曜日  
6月第2月曜日までは無休

【お問合せ】山形市野草園  
山形市大字神尾832-3  
TEL: 023-634-4120



# ちえつと寄れ茶



畔を歩き、ご当地スイーツなどが提供されるそうで、健康志向の高い皆さんは興味津々の様子でした。他にも、ほんなことから、ある方の新婚当時のエピソードに話題が移り、悲喜こもごもの様子に話が盛り上がりました。

「ちえつと寄れ茶」は年6回開催されており、和やかな雰囲気の中、お話し会やクッキング体験などを通して交流を図っています。また、会場の2階には「避難者情報コーナー」が常設されており、新聞や広報誌の閲覧や相談・交流スペースとして利用されています。お近くの方はぜひお立ち寄りください。

4月18日(火)に天童市社会福祉協議会の主催で、今年度最初の「ちえつと寄れ茶」が開催されました。「ちえつと」は地元の方言で「ちよつと」とか「少し」という意味で使われていますが、何年も参加していて初めて気付いたという方がいて、場が和みました。

会では、お茶とお菓子を頂きながら、お互いの近況や世間話に花が咲きました。ゴールデンウィークに尾花沢市の徳良湖で開催される、ウォーキングイベントに参加される話題が出ました。遅咲きの桜が満開になる時期に湖



【お問合せ】  
天童市社会福祉協議会 TEL:023-654-5156

## 寄稿



今年のゴールデンウィークは久しぶりに賑やかだったような気がします。5月8日にコロナが5類に移行したこともあり、人に会ったり、飲食を共にする機会が増えていきますね。

体験や、人のためにお金をつかうことは、幸福度を高めるお金のつかい方と言われています。

物は買った瞬間が一番嬉しく感じます。物は経年劣化するだけでなく、時間が経過すると共に、喜びは減っていきます。所有していることが当たり前前の状態になっていくからです。一方で、経験は、経験値として蓄積されます。仮に辛い体験だったとしても、本で読んだり、映像で見ると、本物に触れるのでは、感じ方、得られる情報が大きく違います。また、経験は、思い出として時間と共に美しくなっていくことが多いです。

人のためにお金をつかうことは、喜ぶ姿をみることが心の栄養になり、豊かな気持ちになります。その人との共通の思い出ができるのも、素敵なお金をつかう場所です。

ようやく人と楽しめるようになってきました。幸せなお金のつかいかたは、素敵な時間の過ごし方に繋がります。



ファイナンシャルプランナー/心理カウンセラー 庄司 あきこ  
E-mail:info@therapist4everyone.com

二度とあんな悲しみを感じたくない。あの日を知っているから出来ることを“する”!  
(山形市/男性)

月日は流れるけど想いは不変  
(山形市)

全世界の人がしあわせになりますように  
(山形市/男性)



未来へつなぐ  
(山形市/女性)

みんな幸せにくらせますように!!  
(山形市/女性)

「うつくしまふくしま」震災前の言葉です。未来がそうなりますように!!  
(郡山市/女性)

2023年3月11日、東日本大震災から12年を迎えキャンドルナイト「追悼・復興への祈り」が文翔館にて行われました。来場した方からのメッセージをご紹介します。(一部掲載)

災害無しで、大切な人とずっと一緒にいたい  
(大江町/女性)

日常がつづくことの幸せをかみしめた出来事でした  
(天童市/女性)

日々の幸せを願いたいですね。無理をせずがんばってほしいです

今までもこれからもずっと想ってます  
(山形市/女性)

おまちしてますにゃ



子ども大人も動物もみんなが笑顔で暮らせますように  
(山形市/女性)

建物は新しくなったけど心のケアはできていますか?ひとりじゃないよ。離れていてもいつも一緒忘れてないよ  
(山形/女性)

戦争反対!!  
(大江町/女性)

### 「みんなの声」につぶやきを送ろう

あの人に伝えたい一言や、最近思う事、今の暮らしの中のつぶやきなどを募集しています。はがき、又はメールでお送りください。みなさまからの投稿、お待ちしております!



「人は肉体と心だけで成り立っているのではなく、魂の器としてこの肉体を持ち、この地球に生まれている。地球は魂の留学先。この星は、今まで知らなかった感覚を経験し、様々な体験を積みに来た場所」そう思うことが出来たら、この星に誕生したことが、どれほどに貴重で、ありがたいことであるか、気付くことができるでしょうか。

国や人種の差別なく、今、「地球人」としてこの星に生き、生かされていると知れたなら、すべての存在が等しく、尊いことに気付くことができるでしょうか。

誰もが幸せを願っているだけ。そして、どんな人の中にも、優しさは隠れています。その優しさ、愛の心を、素直に表現できたなら、世界はもっと柔らかく、穏やかな時を取り戻すことができるかもしれない。その優しさ、愛は、あなたの中にもある光です。

光の心ですべてを見つめた時、自分がどのようにあることが『世界の幸福』に繋がるのか、みえてくるのだと思うのです。

Fromやまがた



## 英字新聞でエコバッグ作り



4月25日(火)に山形市避難者交流支援センターの主催で、山形市役所の会議室を会場に「浜通り交流会」が開かれ、英字新聞でエコバッグ作りを行いました。新年度最初の開催ということもあり、新任の方のごあいさつに続き、センター職員さんから作り方の説明を受けました。

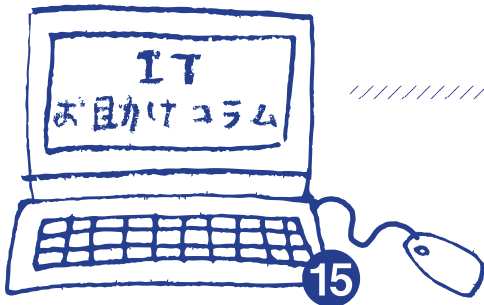
作り方は、新聞をバッグの周囲の長さになるよう大き目に折りたたみ、緑の部分や底の部分に折り目を付け、貼り合わせます。バッグの形状になるよう形を整え、持ち手を付けたら出来上がりです。コツとしては、新聞を開いて、

どの面を表に見せるかデザインを考えることや、持ち手の部分はコヨリで固く絞り、バッグの内側には補強を貼り付けることなどのアドバイスを受けました。職員さんのサポートも的確で、事前に入念な予習をしてきたそうです。

参加者は1時間程度で作り上げ、英字新聞ならではの面が活用され、きらびやかなブランド品の広告欄や、大統領の演説シーンなど様々な見た目の作品が並びました。参加者からは「ちょっとした舶来品の小物入れのようだ」「作り方を覚えたので、家でも作ってみたい」などの声が聞かれました。



【お問合せ】山形市避難者交流支援センター  
TEL:080-2807-7591



## 車の自動運転技術について

日進月歩の成長を続ける自動運転技術ですが、この自動運転にはレベル0からレベル5までであることをご存じでしょうか？

レベル0は自動運転機能なし、レベル1は運転支援(アシスト機能)、レベル2は部分的自動運転(ハンズオフ可能)で、今市販されている車はレベル1、レベル2が中心です。いずれも運転主体は「人」です。これが次世代のレベル3(アイズオフ可能)では、限定的ですが手放しでよそ見をしてもシステムが運転タスクを代行してくれます。つまり運転主体は人ではなく「システム」で、これには近年急激に成長している人工知能AIや各種センサーをはじめとした高度なIT技術が使われています。

このレベル3自動運転車は、国産ではホンダ「LEGEND」がすでに販売されています。今後、レベル4ではブレインオフで運転者が不要な自動運転タクシーのようなもの、レベル5では完全自動運転車で運転免許証自体が不要になるのではという議論もあります。法整備は2023年4月1日より改正道路交通法が施行され、レベル4の自動運転が解禁されました。これからのモビリティ社会はどんな未来社会なのでしょうか。(加藤)

質問を受け付けます!

メールで質問を受け付けますので、お気軽にお寄せください。

【お問合せ】  
NPO法人Yamagata1  
E-mail: mail@yamagata1.org



## 令和5年度 福島県奨学資金《震災特例採用》奨学生募集案内

福島県教育委員会では、原子力災害被災地域において被災し、経済的理由により修学が困難となった高校生を支援するため、福島県奨学資金《震災特例採用》の奨学生を募集します。

**対象者** ※1年生以外の方も応募できます。

- 高等学校(特別支援学校の高等部含む。以下同じ)、又は修業年限2年以上の専修学校(高等課程でかつ福島県教育委員会が定める専修学校に限る。以下同じ)の生徒
- 福島県内の高等学校、専修学校に在学する者については、福島県内に6ヶ月以上住所を有していること
- 福島県外の高等学校、専修学校に在学する者については、震災時に生徒本人が福島県内に住所を有し、かつ保護者は福島県内に6ヶ月以上住所を有していること
- 原子力災害被災地において被災し、下記①②のいずれかの事由により修学が困難で、生徒の生計を主として維持する方の所得金額が所得基準額以下(※)であること  
※所得金額:1年間の総収入金額から必要経費、特別控除額を差し引いた金額

詳細は福島県教育庁高校教育課へご確認下さい。

- ①警戒区域又は計画的避難区域内に居住していて避難した場合
- ②緊急時避難準備区域、屋内退避指示が出た区域等に居住していて市町村の判断により避難した場合

貸与月額	自宅通学	自宅外通学
国公立	18,000円	23,000円
私立	30,000円	35,000円

※保護者と同居の場合は自宅通学扱い

**貸与期間** 令和5年4月～令和6年3月まで

**貸与方法** 採用決定後、年2回(令和5年9月末と令和6年1月末の予定)に分けて奨学生本人の口座に振り込み

**利子** 無利子 **保証人** 連帯保証人1名(原則保護者)

- 返還**
- 卒業から6ヶ月経過後より20年以内に返還
  - 届け出により返還が猶予される場合
    - ・上級学校に進学した場合の在学中
    - ・卒業後の年収(見込)が300万円以下の場合(最大5年間まで)
  - 届け出により返還が免除される場合
    - ・卒業から5年経過後も年収(見込)が300万円以下の場合

**申込方法** 在学する学校を通して行います

- ・申請に必要な書類を学校へ提出
- ・学校の推薦を得て申請へ
- ・学校より申請書類を福島県へ

**申込締切** 学校への申込締切 各学校の指定する日  
学校から福島県教育委員会への提出締切  
**令和5年6月30日(金)必着**

【お問合せ】  
福島県教育庁高校教育課 TEL:024-521-7775

## 文部科学省 原子力損害賠償紛争解決センター(ADRセンター)からのお知らせ



『どのような形の  
損害賠償請求が行われているのか』  
『センターによる和解仲裁手続を  
始めるにはどのようにすればよいのか…』

このような疑問について福島県出身であったか Fukushima 観光交流大使をされているなすびさんが ADRセンターの調査官らから話を伺いました。

「東京電力からの損害賠償に不満がある」「いまだ賠償といっても…」とお考えの皆さん **なすびさん**と一緒に疑問を解消して ADRセンターを利用してみませんか

原子力損害 賠償請求



ADRセンターHP



文部科学省HP

(なすびさんの動画はこちら)

◇お問い合わせ窓口◇

文部科学省 原子力損害賠償紛争解決センター  
TEL 0120-377-155 (平日午前10時～午後5時)



## 旬なお野菜&くだもの通信

今回は、「おとめ心いちご」をご紹介します。  
いちごは、各県の農業試験場等で、オリジナルブランドが誕生しています。

山形県では、2006年3月24日品種登録された「おとめ心」があります。山形県立砂丘地農業試験場にて、「砂丘2号」×「北の輝き」を交配選抜、育成された品種。山形の厳しい寒さに当たりながらもその生命力で、生産者さんの手を借りながら、少しずつゆっくり成長して、旨みも果肉もしっかりしたいちごになります。果皮は光沢があり、甘さと酸味のバランスが良く、香りも強く、ミルクがなくても美味しいおとめ心いちごの収穫は、6月中旬まで続きます。

### いちごの良品の見分け方

- ヘタの緑色が濃く乾燥していないもの
- ヘタの近くまで赤く色づいているもの
- 果肉がふっくらとしてハリがあるもの



### その1 おとめ心いちご

野菜ソムリエ上級プロ・食育指導士 山口 美香  
(株)グリーンショップはらだHP



## 斎藤茂吉記念館

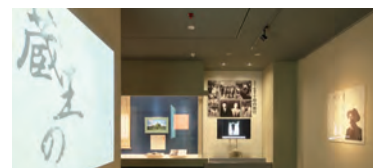


斎藤茂吉記念館は、昭和43年に斎藤茂吉の生地上山市に開館し、今年で55年になります。茂吉は明治15年に現在の上山市金瓶に生まれ、精神科医師として従事する傍ら、アララギ派歌人として活躍し、歌集「赤光」「あらたま」などを発表。昭和28年に逝去し、今年没後70年となりました。

館内には歌集、書画のほか、家族、親交のあった文人との写真、中には、茂吉の人物が垣間見える手紙や、愛用品などが展示されています。さらに、当時の居室・書斎が再現されているほか、ビデオ上映、タッチパネルでの検索などデジタルツールでの展示もあり、じっくりと茂吉の世界を堪能できます。

また、桜の名所としても知られるみゆき公園には多くの植物が見られ、四季折々の景色を楽しむことができます。園内の明治天皇の小休所として建てられた環翠亭からは蔵王連峰が一望でき、野鳥の声を聞きながら散策してはいかがでしょうか。一首浮かんだら、是非短歌ポストへ。

住所 / 上山市北町字弁天1421  
TEL / 023-672-7227  
開館時間 / 9:00~17:00(入館受付16:45)  
休館日 / 毎週水曜日(祝日・休日の場合は翌日)、7月2日~8日、年末年始(12月28日~翌年1月3日まで)  
入館料 / 大人600円(500円)、高・大学生300円(250円)、小・中学生100円(50円)  
※( )内は団体料金(団体は10名以上)



斎藤茂吉 没後70周年特別展  
MOKICHI - 壮年から晩年までを振り返る -  
4月29日(土)~8月31日(木)まで開催  
※割引券を支援センターにて配布しています。(部数限定)

うるかむダウンロードはこちらから <https://kizuna-yamagata1.jp>

編集部だより

みなさまからの情報をお寄せください!  
詳しくは復興ボランティア支援センターやまがたへ



次号は  
**6月21日**  
発行です

情報提供や寄稿は  
6月7日まで  
お寄せ下さい。  
お待ちしております。

◆だいぶ暖かくなり、花や草木の成長が楽しいな時季になりました。今年は庭木の植え替えに挑戦しようと思っています。雪に強く、放っておいても育ってくれるような植物ってないですかね?? (結)

◆今年は柏餅の食べ比べをしました。あんの違い、お餅の違いを十分に楽しみ、ふと葉の色が違う事が気になり調べてみたり。季節で楽しむ和菓子は奥が深い! 来月はどんなお菓子に出会えるか楽しみです。(茂)

◆先日、娘の20歳の祝賀式に参列してきました。今年からは保護者も申し込みが出来るようになりました。おかげで親たちも久しぶりの再会となり、とっても楽しい一日を過ごしてきました。(森)

避難者向けフリーペーパー「うるかむ」

発行元/つながろう! ささえあおう! 復興支援プロジェクトやまがた

〒990-2412 山形県山形市松山3丁目14番69号「復興ボランティア支援センターやまがた」  
TEL.023-674-7311 FAX.023-674-7312

E-mail [kizuna@yamagata1.jp](mailto:kizuna@yamagata1.jp) WEB <https://kizuna.yamagata1.jp/>



<https://www.facebook.com/fvsc.yamagata>



<https://tsunagarou.net/>

「うるかむ」に掲載された今までの記事と、リアルタイムなおすすめ情報、イベント情報、支援団体情報などを掲載しています。ぜひご覧ください。

